

1年 道徳

主題名	礼儀は何のため		
中心内容項目	B-9 主として人との関わりに関すること(礼儀)		
	こぐまの	らっぱ	
令和元年	5月24日	2校時	
児童	1年 1組	19名	
授業者	永井 悠介		

1 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値(教師の価値観)

第1学年及び第2学年の内容の「B-9 礼儀」は、「気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること」とある。

礼儀は、敬意を表す形であるが、その形は相手を一人的人間として敬する心(相手を敬い自分を慎む心)から生まれてものである。低学年の場合の相手とは、今日の社会的状態からみて、親・兄弟・祖父母などの家族、友達・上学年・学校職員・近所の人々など、身近で親しい顔見知り人々であると考えるのが妥当であろう。

これらの人々と、気持ちよく交わっていくためには、まず自分が明るく接しようとするのが大切である。その気持ちは、相手に通じ、お互いに明るく気持ちよくなる。

この時期に、正しい礼の形をわきまえることと同時に、その形に心を込めて人と交わっていかうとする態度を育てることが必要である。

(2) 児童の実態(児童観)

1年生の時には、学校生活に戸惑うことがないように、学校での生活リズムに慣れることを重点的に指導してきた。その中で、礼儀に関わること(朝の挨拶、始業の挨拶、職員室への入室の仕方、上学年との話し方など)についても、その意義を考えさせながら指導を行ってきた。

そのため、教室に入ってくる時の友達への挨拶や、一人一人がしっかりと声を出して始業の挨拶をすることがよくできており、習慣として身に付いているところがある。校外学習(乗り物利用学習や氷のお面搬入など)の際には、バスの運転手や施設の職員の方へ挨拶をしたり支障なく関わったりできていた。

一方で、学校生活への慣れから、挨拶が形骸化している状況がある。また、全体で挨拶をする際には、「私一人くらい、挨拶しなくても大丈夫だよ」という自己中心的な考えから、挨拶がおろそかになっている状況がある。

このことから、単なる形式として礼儀や言わされている挨拶から、相手のことを思いやった挨拶に意識が向くように、そのよさについて考えさせたい。

事前アンケート

・内容	・結果
礼儀正しくするとは、どうすることですか。	ある……〇人 ない……〇人 (理由)
礼儀正しくすることは、大切だと思いますか。	
礼儀正しくするとは、どうすることですか。	
自分は、礼儀正しくしていますか。	

(3) 教材への思い(教材観)

本資料は、校庭で鍵を見つけたたくや君が、一刻も早く持ち主に届けようと、礼儀を忘れて職員室に入ろうとする。その時、一緒にいたあきら君の一言によって、礼儀正しく職員室に入り、先生に鍵を渡すことのできたたくや君やその周囲の人がすがすがしい気分になるという話である。

時・相手・場に応じて、礼儀正しくすることの大切さやよさについて考えることのできる教材である。

急いで職員室に入とうとしたときのたくや君と「はっ」と気付いて礼儀正しく職員室に入ったたくや君との違いを比較しながら考えている視点の違いを考えたい。その上で、顔を見合わせてにこにこしているときのたくや君に共感させ、その気持ちを類推することで、礼儀正しくすることで礼儀正しくすることのよさについて気付きが得られるようにしたい。

2 研究との関わり

(1) 一人一人が自分事として考えるために

導入では、これまでの生活の中で礼儀正しくできた場面を想起させる。その際、「礼儀正しくすることは本当に必要なのか」「どのような思いから言葉遣いを正しくしたのか」と発問を重ねることで、問題意識を高め、本時のテーマ「礼儀正しくするのは何のため？」の視点へつなげていく。

(2) 自我関与を重視した発問

主人公のたくや君に自我関与させながら、礼儀正しくすることのよさに気付かせたいという意図から発問を構成した。

展開での最初の発問「なぜ、たくや君は職員室へ行ったのですか」を通して、このお話がどのような状況で起こっているのか(背景)を含めてイメージすることをねらった。その上で「礼儀正しくしたのはどうしてか」「なぜにこにこしているのか」については、自分の生活や体験と関わらせながら道徳的価値についての理解を深めていく。

(3) 教材からの学びをこれからの生活に生かす

(2)で、教材を通じた思考によって道徳的価値についての理解を深める。そして、その視点から、自分を見つめるために、展開後段では、今の自分、今までの自分、これからの自分について見つめることができるように生活場面での写真を提示や教師が感じた児童の礼儀正しさについて説話を行う。

さらに、終末では、授業者が提示する視点にそって、ワークシートに振り返りを行い、ねらいとする価値に対する思いや考えをまとめる。

3 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・気持ちのよい挨拶、言葉遣いの大切さを知り、相手に対して明るい気持ちで接していかうとする態度を育てる。

(2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応 (○発問 ◎中心発問)	教師の支援・評価・研修との関わり ●支援 □評価指標 ◎研修との関わり
気付き	<p>1 問題意識の共有化</p> <p>○職員室に入るときには、どんな挨拶をして入りますか。</p> <p>・ノックをします。「失礼します」「名前」「用件」を言います。(挨拶に関すること)</p> <p>・「～です」「～ます」という丁寧な言葉をつかいます。(言葉遣いに関すること)</p> <p>・小さめの声で話します(心がけに関すること)</p> <p>⇒職員室に入るだけでも、いろいろなことに気を付けているのですね。</p> <p>○何のために、挨拶や言葉遣いに気を付けているのですか。(よいことがありますか。)</p> <p>・職員室に入るときはルールだからです。(きまりだから)</p> <p>・先生や先輩、家族からそのように教わったからです。(そういうものだから)</p> <p>・先生に褒められるからです。(他者承認のため)</p> <p>(何のために礼儀正しくしているのか)について整理し、「問題意識を高めるようにする」</p> <p>⇒と言うことは、人から言われたり、人から褒められたりするために、“我慢”して礼儀正しくしているのですね。礼儀正しくするのは、窮屈ですね?</p> <p>○教材「いそいでいても」を通して、何のために礼儀正しくするのかを考えましょう。</p>	<p>●素直な子どもたちの意見を引き出せるような雰囲気づくり。</p> <p>◎子供たちが生活経験と結びつけて考えたこと、ねらいとする道徳的価値についての意識の「ずれ」を感じさせ、問題意識を共有化させる。</p>
深める	<p>◎本時のテーマ</p> <p>れいぎ正しくするのは 何のため?</p> <p>2 教材「いそいでいても」を読んで話し合う</p> <p>○なぜ、たくや君は(急いで)職員室へ行ったのですか。(背景を考える)</p> <p>・鍵は大切なものだから、すぐに届けたいと思ったからです。</p> <p>・鍵をなくした人が困っていて、今、探しているところかもしれないと考えてからです。</p> <p>⇒なくした人のことを思いやり、早く届けたいという気持ちのたくや君に共感させる</p> <p>○なくした人のことを考えて急いでいるたくや君が、礼儀正しく職員室に入ったのはどうしてですか。</p> <p>(導入での問題意識とつなげるようにする)</p> <p>・職員室へ入るときはルールだからです。</p> <p>・礼儀正しく職員室に入ると、先生から褒められるからです。</p> <p>・職員室にいる先生は、仕事だからです。</p>	<p>●「お話の中に、礼儀正しくしていることがあるかな?」と、教材をよく視点を与える。</p> <p>●子供たちが教材の内容を理解できるように、子供のつぶやきや疑問を共有化しながら読み進める。</p> <p>●たくや君の置かれている状況や言動、言動を生む心が分かりやすいように板書を図式化し、子供たちの思考を助けるように構成する。その際、子供たちが板書に参加するように促す。</p>
つかむ	<p>◎礼儀正しく職員室に入った二人が、なぜ顔を見合わせてにこにこしているのですか。</p> <p>⇒(導入とつなげて)、我慢して礼儀正しくしているのですから、疲れた表情のはずでは? (上の発問とつなげて)、急いで入って届けた方が、笑顔になれるはずでは?</p> <p>・無事に、鍵を届けることができたからです。</p> <p>・先生方のことを考えて、礼儀正しくしたことが、先生に伝わったからです。</p> <p>⇒先生方(相手)のことを考えて、礼儀正しくする(心・気持ち)が、相手や自分の喜びや気持ちのよさにつながることに目を向けさせていく。</p> <p>○礼儀正しくするのは、何のためでしょうか。お話からどんなことを学びましたか?</p> <p>・相手のためにします。相手のことを考えてそれを伝えるためにします。</p> <p>・自分がいい気持ちになるためにします。</p>	<p>◎自分との対話</p> <p>ワークシートに自分の考えをまとめる。その後、記述をもとに自分の考えを全体に発表させるようにする。</p> <p>□道徳的判断力(ワークシート・発表)</p> <p>自分のやるべきことをしっかりと行うことのすばらしさがわかったか。</p> <p>□道徳的心情(ワークシート・発表)</p> <p>辛いことや苦しいことにくじけないで、自分自身を高めていかうとするこぐま君の姿に心を動かすことができたか。</p>
ひろげる	<p>◎共通解</p> <p>・礼儀正しくすると、自分や相手がいい気持ちになる。</p> <p>3 今までの自分自身と向き合い、これからの課題を考える</p> <p>○自分の生活と今日の学習とが、つながることがありますか。</p> <p>・礼儀正しくしようとはしていたけれど、あまり相手のことを考えていなかったと思います。</p> <p>・〇〇君は、いつも礼儀正しいので、自分も礼儀正しくしたいとおみました。</p>	<p>◎相手との対話</p> <p>友達の意見を聞きながら、様々な考え方にふれ理解を深める。</p> <p>□道徳的実践意欲(ワークシート)</p> <p>自分自身を高めていかうとする力には自分にもあり、その力を使って頑張っていることを続けていかうとしているか。</p>
まとめる	<p>4 本時のまとめをする</p> <p>・教師の説話</p> <p>※ 本時の学習を振り返り、感想をワークシートにまとめる。</p>	

(3) 本時の評価

- ・気持ちのよい挨拶、言葉遣いの大切さを知り、相手に対して明るい気持ちで接していかうとする意欲をもつことができたか。